

---

# 付録 C

## リストベースド試験機能(LBT)

【 Version 9.0 : 02 版 】

optimize!  
**softing**



本製品の使用前に必ず取扱説明書をお読み下さい。



本取扱説明書は英文取扱説明書の一部邦文訳ですが、全てにおいて英文取扱説明書の補助手段としてご使用ください。



## 目次

<b>第 1 章 リストバインド試験機能とは</b> .....	<b>C-2</b>
<b>第 2 章 ラベルリストの作成</b> .....	<b>C-2</b>
● ラベルリスト作成ツール .....	C-2
● 階層 .....	C-3
● Point to Point .....	C-6
<b>第 3 章 ラベルリストの管理</b> .....	<b>C-7</b>
● ラベルリストのエクスポート .....	C-7
● ラベルリストの保存 .....	C-8
● ラベルリストのロード .....	C-9
● ラベルリストのインポート .....	C-9
<b>第 4 章 ラベルバインド試験</b> .....	<b>C-11</b>
● 試験の実行 .....	C-11
● リストバインド試験結果の確認 .....	C-12

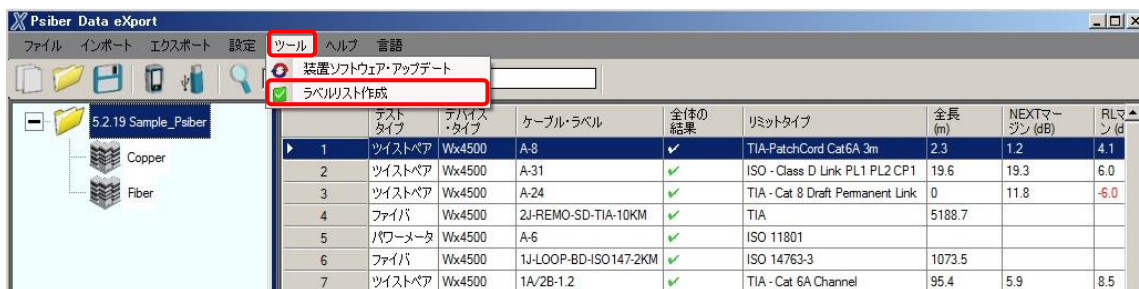
## 第 1 章 リストベースド試験機能とは

リストベースド試験(LBT)とは、エクスポート(eXport)のバージョン 6.2 以降で追加された機能です。LBT は、カスタマイズされた階層形式のケーブルラベル機能です。PC 上で作成した階層形式のラベルを WX4500 または、WX500 にインポートして使用します。

## 第 2 章 ラベルリストの作成

### ラベルリスト作成ツール

1. エクスポート(eXport)を起動させます。
2. ツール → ラベルリスト作成を選択します。  
※ エクスポート(eXport)は、Softing 社のホームページからダウンロードできます。  
<http://itnetworks.softing.com/asia/>



	テスト タイプ	デバイス タイプ	ケーブルラベル	全体の 結果	リミットタイプ	全長 (m)	NEXTマー ジン (dB)	RLマ ン (d)
1	ツイストペア	Wx4500	A-8	✓	TIA-PatchCord Cat6A 3m	2.3	1.2	4.1
2	ツイストペア	Wx4500	A-31	✓	ISO - Class D Link PL1 PL2 CP1	19.6	19.3	6.0
3	ツイストペア	Wx4500	A-24	✓	TIA - Cat 8 Draft Permanent Link	0	11.8	-6.0
4	ファイバ	Wx4500	2J-REMO-SD-TIA-10KM	✓	TIA	5188.7		
5	パワーメータ	Wx4500	A-6	✓	ISO 11801			
6	ファイバ	Wx4500	1J-LOOP-BD-ISO147-2KM	✓	ISO 14763-3	1073.5		
7	ツイストペア	Wx4500	1A/2B-1.2	✓	TIA - Cat 6A Channel	95.4	5.9	8.5

## 階層

ビル名の他にも階層形式ラベルは、各階層ラベル間で区切り文字を使用できます。Delimited With フィールドに“-”, “.”, “<>”などの英数字を入力して、区切り文字として使用します。各階層(フロア/テレコムルーム/ラック/パネル/ポート)の始まりの単位を“始める”フィールドに入力し、終わりの単位を“終了する”フィールドに入力します。もし、ある階層が不必要な場合は、チェックを外して適用外に設定することができます。

1. ビル : ビルの名称を入力します。
2. フロア : フロアナンバーを入力します。
3. テレコムルーム : テレコムルームナンバーまたはテレコムルーム名称を入力します。
4. ラック : ラックナンバーまたはラック名称を入力します。
5. パネル : パネルナンバーまたはパネル名称を入力します。
6. ポート : ポートナンバーまたはポート名称を入力します。

### <注意>

階層ラベル(フロア、テレコムルーム、ラック、パネル、ポート)は、ラベル作成のために対応されているフォーマット(例 : 01/10、B1/B3、-1/-4、1#/5#)で入力しなければなりません。英数字と ASCII 文字も LBT でサポートしています。

**例 1 :**

エキスパートサービスは 1 サーバルームに 1 つのラック(R)と 3 つのパネル(P)でオフィスビルの 1 つのフロアを占有している。各パネルで 12 ポート(p)を使用する。また、近い将来ラックを追加する計画がある場合

ビル	フロア		テレコム ルーム		ラック		パネル		ポート		ラベル
	NA	NA	NA	NA	R01	R01	P01	P03	p01	p12	
E-SVC	NA	NA	NA	NA	R01	R01	P01	P03	p01	p12	E-SVC-R01-P01-p01 ~ p12 E-SVC-R01-P02-p01 ~ p12 E-SVC-R01-P03-p01 ~ p12
ラベルの合計数											36

※ NA: Not Available (使用しない)

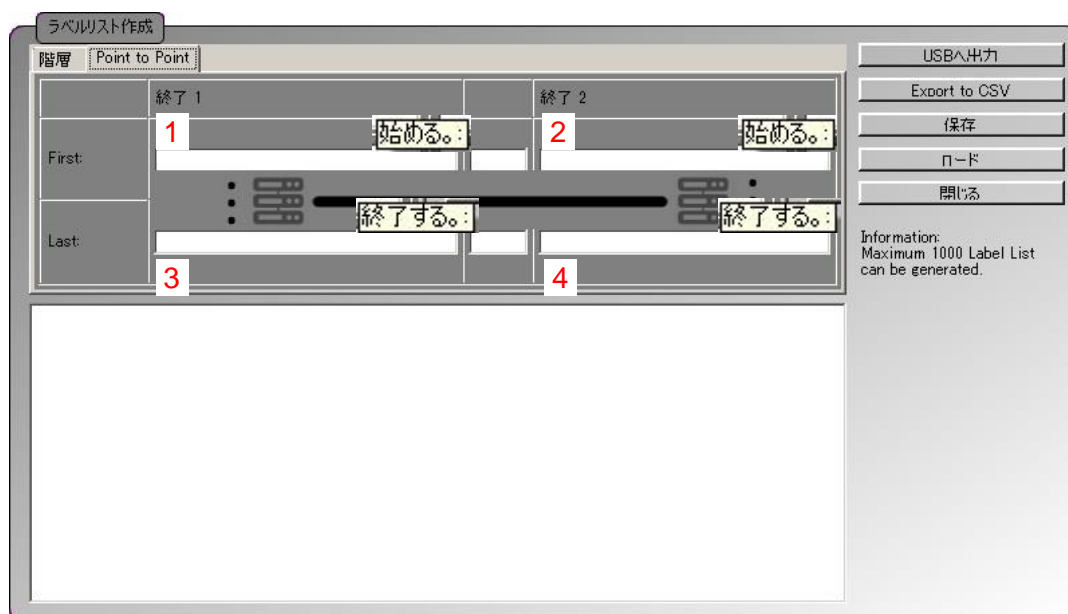
**例 2 :**

テクニカル・ショッピングモールは、各フロアに 2 つのテレコムルームを 2 フロア持っています。テレコムルームには 2 つのラックがあります。各ラックには、10 個のパネルがあり、12 ポートを使用する場合

ビル	フロア		テレコム ルーム		ラック		パネル		ポート		
	L1	L2	TR1	TR2	RA	RB	P01	P10	p01	p12	
<b>ラベル一覧</b>											
<b>Level 1, Room 1, Rack A</b>			<b>Level 1, Room 1, Rack B</b>			<b>Level 1, Room 2, Rack A</b>			<b>Level 1, Room 2, Rack B</b>		
TSM-L1-TR1-RA-P01-p01~12			TSM-L1-TR1-RB-P01-p01~12			TSM-L1-TR2-RA-P01-p01~12			TSM-L1-TR2-RB-P01-p01~12		
TSM-L1-TR1-RA-P02-p01~12			TSM-L1-TR1-RB-P02-p01~12			TSM-L1-TR2-RA-P02-p01~12			TSM-L1-TR2-RB-P02-p01~12		
TSM-L1-TR1-RA-P03-p01~12			TSM-L1-TR1-RB-P03-p01~12			TSM-L1-TR2-RA-P03-p01~12			TSM-L1-TR2-RB-P03-p01~12		
TSM-L1-TR1-RA-P04-p01~12			TSM-L1-TR1-RB-P04-p01~12			TSM-L1-TR2-RA-P04-p01~12			TSM-L1-TR2-RB-P04-p01~12		
TSM-L1-TR1-RA-P05-p01~12			TSM-L1-TR1-RB-P05-p01~12			TSM-L1-TR2-RA-P05-p01~12			TSM-L1-TR2-RB-P05-p01~12		
TSM-L1-TR1-RA-P06-p01~12			TSM-L1-TR1-RB-P06-p01~12			TSM-L1-TR2-RA-P06-p01~12			TSM-L1-TR2-RB-P06-p01~12		
TSM-L1-TR1-RA-P07-p01~12			TSM-L1-TR1-RB-P07-p01~12			TSM-L1-TR2-RA-P07-p01~12			TSM-L1-TR2-RB-P07-p01~12		
TSM-L1-TR1-RA-P08-p01~12			TSM-L1-TR1-RB-P08-p01~12			TSM-L1-TR2-RA-P08-p01~12			TSM-L1-TR2-RB-P08-p01~12		
TSM-L1-TR1-RA-P09-p01~12			TSM-L1-TR1-RB-P09-p01~12			TSM-L1-TR2-RA-P09-p01~12			TSM-L1-TR2-RB-P09-p01~12		
TSM-L1-TR1-RA-P10-p01~12			TSM-L1-TR1-RB-P10-p01~12			TSM-L1-TR2-RA-P10-p01~12			TSM-L1-TR2-RB-P10-p01~12		
<b>Level 2, Room 1, Rack A</b>			<b>Level 2, Room 1, Rack B</b>			<b>Level 2, Room 2, Rack A</b>			<b>Level 2, Room 2, Rack B</b>		
TSM-L2-TR1-RA-P01-p01~12			TSM-L2-TR1-RB-P01-p01~12			TSM-L2-TR2-RA-P01-p01~12			TSM-L2-TR2-RB-P01-p01~12		
TSM-L2-TR1-RA-P02-p01~12			TSM-L2-TR1-RB-P02-p01~12			TSM-L2-TR2-RA-P02-p01~12			TSM-L2-TR2-RB-P02-p01~12		
TSM-L2-TR1-RA-P03-p01~12			TSM-L2-TR1-RB-P03-p01~12			TSM-L2-TR2-RA-P03-p01~12			TSM-L2-TR2-RB-P03-p01~12		
TSM-L2-TR1-RA-P04-p01~12			TSM-L2-TR1-RB-P04-p01~12			TSM-L2-TR2-RA-P04-p01~12			TSM-L2-TR2-RB-P04-p01~12		
TSM-L2-TR1-RA-P05-p01~12			TSM-L2-TR1-RB-P05-p01~12			TSM-L2-TR2-RA-P05-p01~12			TSM-L2-TR2-RB-P05-p01~12		
TSM-L2-TR1-RA-P06-p01~12			TSM-L2-TR1-RB-P06-p01~12			TSM-L2-TR2-RA-P06-p01~12			TSM-L2-TR2-RB-P06-p01~12		
TSM-L2-TR1-RA-P07-p01~12			TSM-L2-TR1-RB-P07-p01~12			TSM-L2-TR2-RA-P07-p01~12			TSM-L2-TR2-RB-P07-p01~12		
TSM-L2-TR1-RA-P08-p01~12			TSM-L2-TR1-RB-P08-p01~12			TSM-L2-TR2-RA-P08-p01~12			TSM-L2-TR2-RB-P08-p01~12		
TSM-L2-TR1-RA-P09-p01~12			TSM-L2-TR1-RB-P09-p01~12			TSM-L2-TR2-RA-P09-p01~12			TSM-L2-TR2-RB-P09-p01~12		
TSM-L2-TR1-RA-P10-p01~12			TSM-L2-TR1-RB-P10-p01~12			TSM-L2-TR2-RA-P10-p01~12			TSM-L2-TR2-RB-P10-p01~12		
ラベルの合計数									960		

## Point to Point

Point to Point ラベル作成は、バックボーンのような A 地点から B 地点間の直線接続や 2 つのパネル間の端末コネクタの測定時に使用します。



1. First 終了 1 :
2. First 終了 2 :
3. Last 終了 1 :
4. Last 終了 2 :

### <注意>

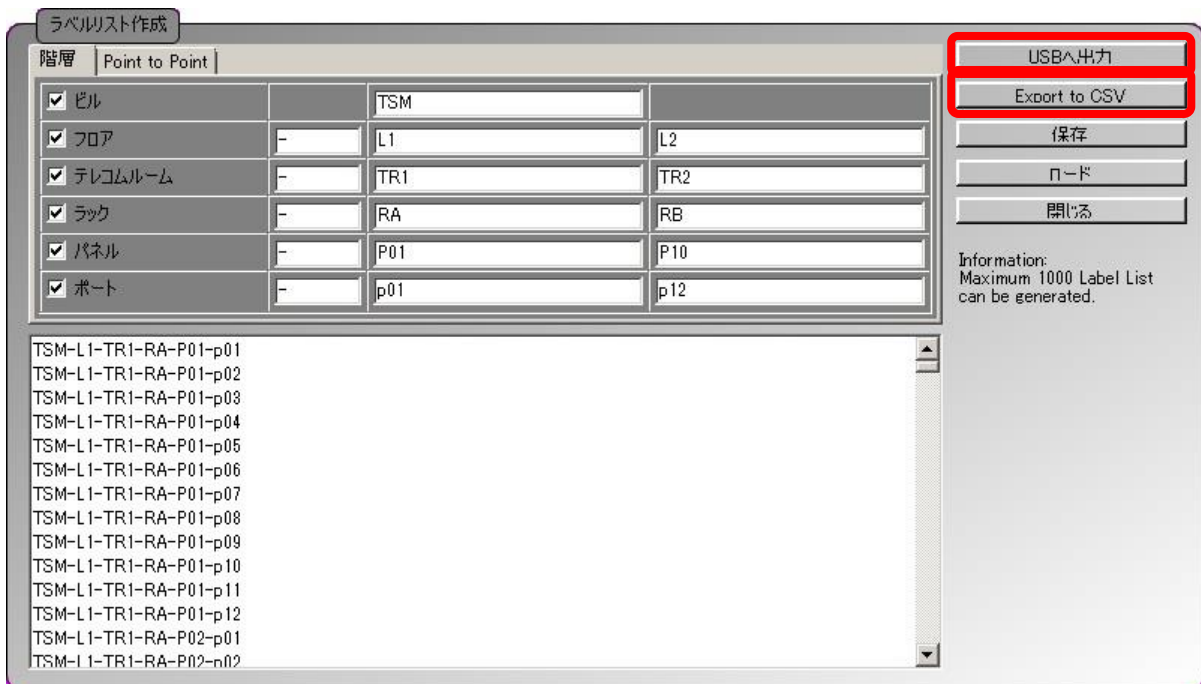
英数字と ASCII 文字をサポートしています。



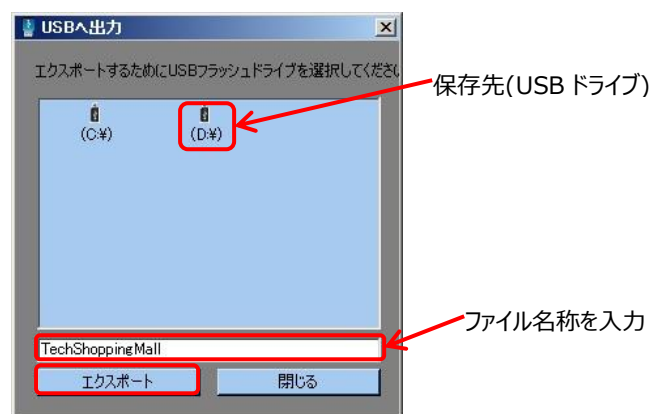
## 第 3 章 ラベルリストの管理

### ラベルリストのエクスポート

1. リスト完成後、PC に USB メモリを接続します。USB が認識したことを確認後、“USB へ出力” をクリックします。CSV 形式で保存したい場合は、“Export to CSV” をクリックして CSV 形式で保存します。



2. 保存先(USB ドライブ)の選択とファイル名称を入力後、“Export” をクリックします。



3. エクスポートが完了すると完了メッセージが表示されます。



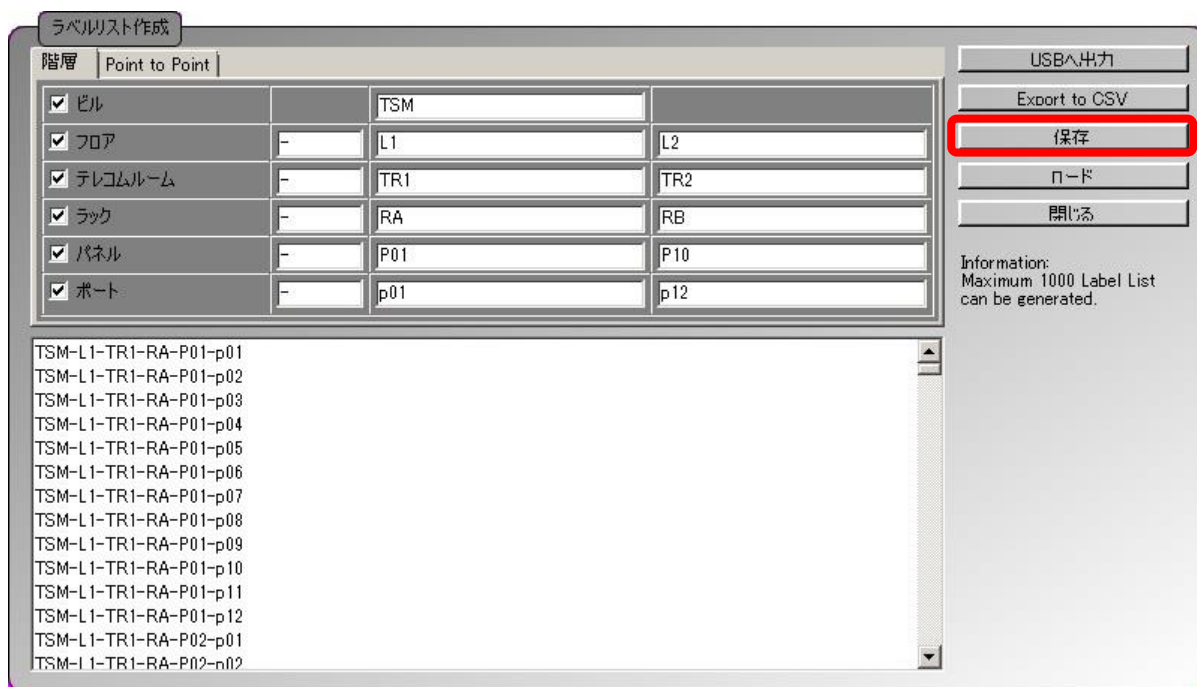
<注意>

ラベルリストを USB ヘコピーする前に一度、保存することをお勧めします。保存手順は次項を参照して下さい。

## ラベルリストの保存

作成したリストを保存することができます。

1. ラベルリスト作成完了後、“保存”をクリックします。



2. 保存先を選択およびファイル名称を入力後、“保存”をクリックしてファイルを保存します。拡張子が .lbt で保存されます。

## ラベルリストのロード

保存したラベルリストを eXport のラベル作成画面上にロードすることができます。

1. “ロード”をクリックします。



2. 保存したラベルリストを選択して、“開く”をクリックします。作成したラベルリストが画面に表示されます。

## ラベルリストのインポート

1. ワイヤーエキスパートの電源を入れます。
2. LBT ファイルを保存した USB メモリをワイヤーエキスパートのローカルユニットに挿入します。
3. ワイヤーエキスパートは、USB メモリを自動的に認識して、“USB メモリ接続済み”画面が表示されます。“ラベルリスト”をクリックします。
4. ラベルリストを選択して “ラベルファイルをコピー”をクリックします。  
※全てのラベルリストを選択/未選択する場合は、“LBT ファイルを選択/未選択”をクリックします。
5. 自動的に USB メモリにコピーされます。

## < 付録 C : リストベースド試験 > ラベルリストの管理 - ラベルリストのインポート



6. USB メモリからのインポート完了後、ワイヤーエキスパートから“SETUP” → “プロジェクト設定” → “ラベル名の候補” → “リストベースド テスティング” を選択します。
7. リストベースド テスティング画面からラベルリストを選択します。自動的にラベルリストが設定されます。



### <注意>

ラベル設定のインポートを実行する前にサイト設定メニューからラベルリストを適用するサイトを設定してください。設定したサイトにラベルリストがインポートされます。

## 第 4 章 ラベルベースド試験

### 試験の実行

1. "AUTOTEST"をクリックします。設定したラベルリストが表示されます。ワイヤーエキスパートは、1 ページ 10 ラベルが表示可能です。



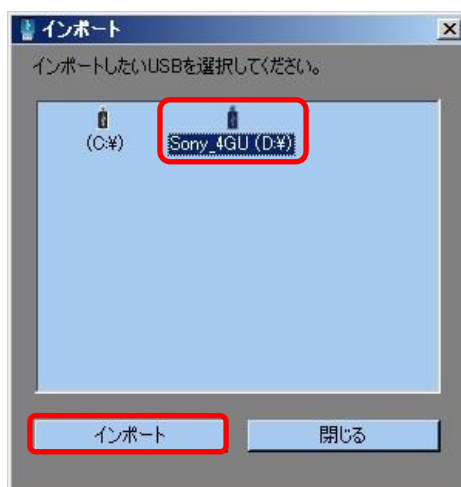
2. ラベルを選択します。選択すると自動的にテストが開始されます。
3. テスト終了後、合格(Pass)の場合は、自動的に保存されラベルリスト画面に戻ります。不合格(Fail)の場合は、結果を確認後、再テストを実行するか手動で保存します。
4. テスト結果一覧表の Pass は、合格を表し、Fail は、不合格を表します。また、保存されたテスト結果をクリックすると詳細を確認できます。

## リストベースド試験結果の確認

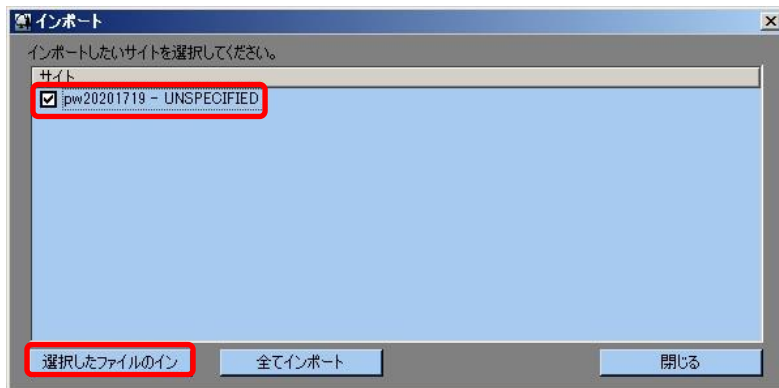
1. ワイヤエキスパートのローカルユニットに USB メモリをセットします。
2. ワイヤエキスパートは自動的に USB メモリを認識して USB メモリ接続済み画面が表示されます。“テスト結果”をクリックします。
3. サイト単位でテスト結果をコピーすることが可能です。コピーするサイトに✓を入れて“選択した現場をコピーします”をクリックします。自動的に USB メモリにテスト結果がコピーされます。コピー完了後、“OK”をクリックします。



4. PC にテスト結果を保存した USB メモリをセットし、eXport を起動します。
5. eXport の“インポート” → “USB ドライブ”をクリックします。
6. USB ドライブを選択して“インポート”をクリックします。



7. インポート画面が表示されます。USB メモリに保存されているテスト結果が全て表示されます。インポートするサイトを選択して“選択したファイルのインポート”をクリックします。



8. 選択したサイトのテスト結果が eXport にインポートされます。テスト結果を選択すると詳細を確認できます。

